

平成30年度

産業建設常任委員会 行政調査報告

期 日：平成30年11月1日(木)～2日(金)

調 査 地：秋田県横手市、岩手県紫波町、平泉町

調査内容：

- (1) 農業経営者等育成事業について
- (2) 交流人口拡大に向けた都市整備事業について

国見町議会

村 上 正 勝 副委員長	2
阿 部 泰 藏 委員	4
井 砂 善 栄 委員	5
村 上 一 委員	7

平成30年度産業建設常任委員会行政調査報告書

平成30年11月9日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 村上正勝

【調査・訪問内容・感想】

(1) 秋田県横手市実験農場について

秋田県横手市の実験農場長より農業経営者育成事業について詳細な説明を受ける。

① 新規就農者育成事業

284aの施設を作業員6名と研修生2年目4名、1年目7名で実施している。

② 農業経営実践レベルアップ事業

③ 市民向け野菜講習・体験事業

④ 各種機関との連携強化

説明後は、農場や作業場の説明を受けながら現場視察を行った。現在はハウスに作物は作っておらず、遠くにアスパラガスのほ場が見えただけであった。冬期間は暖房などの経費がかかるため、栽培しないものと思い見学を行った。

作業場は大型の予冷庫などが揃っており、素晴らしい設備であった。秋田県は米どころであるが、野菜の苗木の供給を農協とともに産地を育成しているように感じられた。

(2) 岩手県紫波町オガールプロジェクトについて

建設課長と事務局長の説明のもと、駅や役場などの説明を受け見学した。

駅前の土地10.7ha程度の利用されていなかった土地を、住宅用地、役場、図書館、ホテル、小売店などが入った町に作り上げたのは、町長はじめ各職員が、外部から来た人材を育てた結果であると思い感心した。まちづくりなどの事業は優秀な人材が豊かな発想で実践することで成り立つものだと感じた。

(3) 岩手県平泉町表敬訪問

副議長及び芹沢議員に対応していただいた。夏に、国見町の子どもたちが訪問した際に桃をもらったことに対するお礼を伺った。芹沢議員は、ボランティアで平泉を案内しているということで、私たちにも詳細に説明をしていただいた。国見町には国見の見どころを案内してくれるボランティアの人がどのくらいいるのかと感じた。

今回の研修は2日間であったが大変有意義な研修であった。今後は研修先の良いところを国見町のまちづくりにも生かせればよいと感じた。

以 上

平成30年度産業建設常任委員会行政調査報告書

平成30年11月10日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 阿部泰藏

【調査・訪問内容】

- (1) 秋田県横手市実験農場について
- (2) 岩手県紫波町オガールプロジェクトについて
- (3) 岩手県平泉町表敬訪問

横手市実験農場には11時に到着し、実験農場の場長佐々木健悦氏と場長代理の佐藤博之氏から横手市実験農場の説明を受けた。

実験農場の敷地284aは、大雄村中学校跡地であったが、平成17年に横手市と平鹿郡7町村が合併し、横手市大雄野菜の育苗施設として利用されてきた。また昨年からは、横手市の園芸栽培技術を習得し、就農に生かそうとする研修生の受け入れ施設として活用されている。また横手市実験農場の研修期間は2年間で、1年目は基本的な栽培技術を習得し、専門指導員による栽培や経営に関する知識を学び、2年目からは、栽培から出荷・販売まで行い就農に必要なノウハウを身に着ける。

岩手県紫波町の視察は、資料をもとに駅周辺の公共施設などを中心に視察調査を行った。紫波町は、昭和30年に1町8村が合併しており、東北本線駅が3か所あり、東北自動車道紫波SA、紫波ICや国道4号、396号、456号が通り交通の利便性がある町である。

紫波町では、平成10年3月に紫波中央駅が開業、7月に公共施設用地10.7haを先行取得し、平成21年公民連携基本計画を策定し、議決した。

紫波町の水田地帯だった中央に駅を開業し、官民一体のオガール紫波株式会社を設立し、中央駅前を開発する。民間オガール紫波公民連携のまちづくりは、公共施設の配列、テナントの配列、住宅エリアなど住民の住み良い環境に配慮した見事なまちづくりに見えた。今後、駅前開発の発展したまちづくりを見たい。

11月2日10時から、平泉町議会を表敬訪問した。寺崎敏子副議長、升沢博子議員、千葉登事務局長が対応してくださった。平泉町議会の定数は12名で、新人議員が6名おり、議員の平均年齢は61歳とのことであった。升沢博子議員に中尊寺、毛越寺などを案内いただき、感謝申し上げたい。

以上

平成30年度産業建設常任委員会行政調査報告書

平成30年11月8日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 井砂善榮

【調査・訪問内容】

(1) 秋田県横手市実験農場について

豊かな自然のチカラを活かす

農に希望を 業に力を

よこて農業創生大学事業

よこて農業創生大学事業は、横手版農業の地方創生事業として平成27年に開始。収益性の高い野菜や花卉など「園芸作物」の取り組みを強化、推進することで、農業者の所得向上と担い手の確保、教育を図ろうとするもので、事業名に大学という名称が入るが、学校を建設するわけではなく、農業者や新たに就農を目指す方、農業や食品加工に関心を持つ方などに研修や講習を行い技術や知識を身に付ける「学びの場」を提供するという趣旨によるものである。この事業では、大雄地域にある実験農場と旧大雄中学校跡地に拠点となる施設を整備し、園芸作物の生産振興や人材育成に係る取り組みを展開することで「所得の確保ができる」「若者が希望を持って就農できる」農業の実現を目指している。

○施設の概要

露地野菜圃場						108a
鉄骨ハウス	パイプハウス					36a
・育苗用ハウス	100坪型	4棟	45坪型	1棟		
・栽培用ハウス	45坪型	3棟	21坪型	6棟		
	39坪型	1棟	120坪型	3棟		
建物他（管理棟・作業棟・研修準備棟・駐輪場）						140a
						計 284a

○実施計画

- (1) 新規就農者育成研修事業
- (2) 農業経営実践レベルアップ事業
- (3) 市民向け野菜講習・体験事業
- (4) この農場は市直営で職員6名、助手6名、計12名
講習生1人当り月10万円支給 就農5年間、年150万円補助金あり

(2) 岩手県紫波町オガールプロジェクトについて

○オガールプロジェクトのオガールとは、
(方言) おがる=成長する+ (フランス語) ガール=駅
「柴波中央駅前都市整備」のこと

○オガール柴波株式会社とは

設立：平成21年6月 町100%出資 3,900千円

平成22年7月 増資10,000千円 町39% 株主数10名

目的 宮と民が連携するためにエージェントの役割を担うこと
社業を通じて町の一層の発展と町民の幸せを目指すこと

事業：①オガールプロジェクト推進・調整

②不動産開発

③企画管理運営

④産直「柴波マルシェ」管理運営

平成10年より日詰西地区土地利用基本計画を策定し、同年3月に柴波中央駅開業

⇒人口減少の歯止め対策とし、地の利を生かした最も良い交通手段で、人口増加を目指したものであろう。

同年7月、町は公共施設用地10.7ha 先行取得、28.5億円

(3) 岩手県平泉町表敬訪問

寺崎敏子副議長、升沢博子議員らとの懇談を行い、升沢博子議員のご案内にて世界遺産の中尊寺金色堂や毛越寺拝観し、蓮池等を見学した。

以 上

平成30年度産業建設常任委員会行政調査報告書

平成30年11月8日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 村上 一

【調査・訪問内容】

(1) 秋田県横手市実験農場について

施設の概要…露地野菜圃場・鉄骨ハウス・建物（管理棟・作業棟等） 284a

《圃場の三大事業》

①園芸品目（栽培実証事業）

横手市の農業は水田単作地帯で、畑作と言ってもホップ栽培のみであったため、野菜栽培による生産力強化の戦略品目の実証を行っている。

②研修事業（担い手育成）

新規就農者の育成事業。平成29年から受け入れ開始。現在2年目研修生4名、1年目研修生7名が研修を受けており、新規就農育成資金より月10万円が支給されている。（県7万5千円、市2万5千円）

③地域種苗センター事業

園芸作物の作付や生産拡大には優良な苗の配給が不可欠で、野菜の育苗を生産供給できる体制になっている。育苗・接ぎ木・ハウスが整備されている。

(2) 岩手県紫波町オガールプロジェクトについて

平成10年東北本線柴波中央駅が開業された。駅の西側に10.7haの塩漬けの土地があり、オガールプラザ（官民複合施設）・オガールベース（民間複合施設）などを建設。エリア内には平成27年役場庁舎を建設。

オガールプラザには産直「柴波マルシェ」、情報交流館、子育て応援センターや学習塾、カフェ、医院などが入っている。

オガールベースには57室のビジネスホテルとバレーボール専用体育館の他、コンビニ、飲食店、文具店などが入っている。

エリア内には岩手県フットボールセンターが設置されており、利用料24時間100円、90分内無料の駐車場がある。

(3) 岩手県平泉町表敬訪問

平泉町議会寺崎敏子副議長と升沢博子議員と千葉議会事務局長と懇談した。その後、升沢議員に案内いただき、中尊寺を視察した。

【感想】

横手市実験農場はくにもみ農業ビジネス訓練所の5倍の面積を所有しているが、事業内容は変わらない。その中で、野菜栽培の基本は苗づくりであるという観念から、優良な野菜の苗の育苗生産をし、農家に供給していく事が地元の農業振興に役立つのではないかと思う。

オガール柴波は新駅設置運動から構想が始まり、官民複合施設・民間複合施設が建設された。そこに行けば何事も用を済ますことができ、町づくりの成功事例だと思う。国見町では柴波町のようにはいかないが、町の現在の施設を有効に利用し、さらに住みよく便利なまちにしていく必要があると思う。

以 上